

## 2021 年度 工芸科 学部入試 出題意図

### 一次試験 鉛筆写生

提示された対象（モチーフは、石膏像アリアス胸像）の全体像を正確に把握し、それを画面に定着する能力を基本的に求めます。

具体的には、柔らかな動きを伴った空間の表現、細部の捉え方、構図・全体の調子のまとめ方などに留意して描いているかを判断基準にしています。

### 二次試験 平面表現

「水」を自由な解釈で「点・線・面」を任意の画面の中に効果的に用いて色彩表現できているか。画面、「点・線・面」の考え方、水性絵の具の扱いも表現との関係性で捉えられているか。

各自の問題に対する主体性・世界観を生み出す能力とそれを的確に表現するための発想力・色彩感覚・構成力を求めています。

### 二次試験 立体表現

モチーフの表現においては基本的な観察力・造形力を、「任意の形体」からはイメージの抽出による独創性を問う出題とし、加えて華奢なモチーフとすることで構造と粘土素材の特性を考慮に入れた表現も要求しています。空間も巻き込むような全方向から魅力がある発想豊かな解答作品を期待しています。